

2021 令和 3 年 7 月 30 日

第 1 回業務執行状況の報告

理事長 小野寺 眞 悟
業務執行理事 小野寺 裕 司

1 当法人名の改称について

本年 4 月 1 日付で、法人名を「公益財団法人小野寺パラスポーツ振興会」と改称しました。

パラスポーツについて、今年のパラリンピックの開催にもより、パラスポーツに勤しむ人たちが、特にパラリンピック種目で活躍が期待される種目や人たちが注目されるなどの光が当たり、我が国の障がい者スポーツが新たな段階に入ったように感じております。

しかし、障がいのある児童生徒のスポーツ活動の視点では、パラリンピックで実施される種目は、身体障がい、特に四肢障がいの方々の種目が主となっておりますので、当法人が支援を行う特別支援学校等のスポーツ普及・振興とは、大きな差異があります。

当法人は、これまで実施してきたフットサルや各学校・教師が工夫開発している障がい児の個に応じたスポーツ種目の支援を、今後もより一層充実して支援し、障がい児が楽しみを広げ、逞しい子供になるよう特別支援学校等のパラスポーツの充実に寄与してまいります。

2 今年の小野寺眞悟杯特別支援学校フットサル大会の中止と一般財団法人日本ライオンズ設立記念全国特別支援学校フットサル大会について

コロナウィルス感染症が拡大し、ワクチン接種が終わらない状況等を鑑み、本年 7 月 30 日に予定していた今年の大会を中止しました。

しかしながら、今年度新たに特別支援学校の全国フットサル大会が、一般財団法人日本ライオンズ(ライオンズクラブ国際協会に所属する日本の皆様により設立された法人)主催で、今年 11 月 6 日、札幌市で開催されることになりましたので、この北海道予選として「小野寺眞悟杯特別支援学校フットサル大会」に参加希望していた道内特別支援学校高等部校 16 校で抽選を行いました。また、その後、棄権した東北と四国地域の代替特別枠がありましたので、全国大会には北海道から 2 校参加することになりました。この「日本ライオンズ設立記念全国特別支援学校フットサル大会」には、北海道函館高等支援学校、北海道札幌あいの里高等支援学校、北信越地域から石川県立いしかわ支援学校、東海地域から愛知県立名古屋聾学校、関西地域から兵庫県立のじぎく支援学校、中国地域から広島県立三原特別支援学校、九州地域から鹿児島城西高等学校(普通科共生コース)が参加いたします。(資料 1)

3 札幌市特別支援学級へのエスポラーダ北海道のフットサル支援について

年度途中での当法人の新たな取組として、「特別支援学級へのフットサル等スポーツ活動の普及」を北海道庁に申請し、実施の許可を受けました。当法人は、これまで専ら特別支援学校だけを対象に事業を実施していたのですが、札幌市特別支援学級・通級指導教室設置校長会より特別支援学級でのパラスポーツ活動の必要性から依頼され、それを受けて実施するものです。また、この指導には、当法人小野寺眞悟理事長が理事長を兼ねている一般社団法人エスポラーダ北海道スポーツクラブが請け負って、年間 50 回を目途に、札幌市内特別支援学級に出向いて 1 単位時間の活動を行うこととしております。(資料 2)

初の全国大会出場に意気込む函館高等支援学校スポーツ部の生徒たち



「励まし合い 一丸で戦いたい」

函館高等支援 全国へ スポーツ部初出場 フットサル挑戦

函館高等支援学校（立田俊治校長、函館市石川町）のスポーツ部が、11月に札幌で開かれる特別支援学校が集まるフットサルの全国大会に出場する。新型コロナウイルス下で練習時間は限られているが、スポーツ部が全国大会に挑戦するのは初めて。生徒たちは「勝ち負けにこだわらず一丸となって戦いたい」と意気込んでいる。（野口今日子）

大会は11月6日に札幌市豊平区で開催される「全国特別支援学校フットサル大会」（一般財団法人日本LCIF主催）。全国9地区で予選が予定されていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止になった。同校は北海道地区の特別支援学校16校から抽選で、唯一の「道代表」に選ばれた。

同高等支援学校のスポーツ部はバスケットボールや卓球、バドミントンなど、1年間を通じてさまざまな競技に取り組む。今回のフットサル全国大会には部員27人から8人を選抜する。週1回の部活動は緊急事態宣言発令で休止しており、部員たちは昼休みや放課後などの空き時間に少人数で集まり自主練習に励んでいる。2年の市戸溪太さん（16）は「初めての全国大会でとてもうれしい。失敗してもみんなで励まし合って、楽しい試合にしたい」と喜んでいる。また、全国大会の出場校はフットサルFリーグの指導と支援が受けられることになっており、同校には「エスポラーダ北海道」の金井一哉監督や選手が大会まで計8回ほど来校し、指導する予定だ。2年の吉田朋起さん（16）は「プロの指導が受けられるのはとても貴重なこと。たくさん教わって、プレーの技術力を高めたい」と期待している。

顧問の山本正彦教諭（24）は「自主的に練習するなど部員の気合は十分。フットサルを通じて部員同士のきずなをさらに強めてほしい」と話している。

2021.令和3年7月8日 北海道通信

札幌市小・中約50校の特別支援学校で
ソフトサル出前授業
10以降プロ選手が指導

札幌市内の小・中学校に、エスポラーダ北海道の男子選手、札幌学院高校選手が各各校を訪問し、ソフトサルの出前授業を実施した。ソフトサルは、札幌学院高校の男子選手が指導し、各校の男子選手が参加した。ソフトサルは、札幌学院高校の男子選手が指導し、各校の男子選手が参加した。ソフトサルは、札幌学院高校の男子選手が指導し、各校の男子選手が参加した。

札幌学院高校の男子選手が指導し、各校の男子選手が参加した。ソフトサルは、札幌学院高校の男子選手が指導し、各校の男子選手が参加した。ソフトサルは、札幌学院高校の男子選手が指導し、各校の男子選手が参加した。

ちやれんじ・ふっと・ぼーる
 エスポラーダ北海道は、特別支援教育を応援します

主催 (公財)小野寺パラスポーツ振興会
 後援 札幌市特別支援学校・通級指導教室
 協力 エスポラーダ北海道



エスポラーダ北海道は、全員、北海道で生まれ育った選手です

- ・実施 令和3年2021年10月～令和4年2022年2月 50 学級
- ・申込 札幌市特別支援学校・通級指導教室設置学校長協会
- ・費用 無料、主催者負担
- ・準備 各学校の体育館、児童生徒はスポーツの服装を
- ・指導 エスポラーダ北海道のコーチ・選手など

2021 令和3年7月30日

公益財団法人斧出ンパラスポーツ振興会

評議員、理事、監事、評議員選考委員会委員 各位

公益財団法人小野寺パラスポーツ振興会

理事長 小野寺 眞 悟

第1回業務執行の状況報告について

このことにつきまして、「法人名の改称」「小野寺眞悟杯の中止」「特別支援学級への支援」の3点について、別添として報告いたします。

今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。